旧殻を脱皮せよ

國家事業を

、小数蔵見として否決された

明を否決

紛糾した『政治的』決議

京大同学会学長と懇談

の自由の徹底を

和を希認」と聞い意志書

自治には信念

東大学に研究員として残る場合

らろ、委員員の改要者が三月 のはこめにアメリカへ行くか らそれまでには大体の構想は いるとのも、現在では重 らろ、委員長の我要者が三月 -七日より三日間、松胸衛 合格率九割以上 型の予却が1社のDで全年級が1、回ぎれる場合は経点の一回到等 「町 今年は、紫朝波動わたりがあったを練する公的員。今年は近日の近 公が近がわなった 女芸術! 深望に る際で力学よりで、三国連覧からりのましを練するもので、在城中の

府大百十一名、岡川医大九十万名。3、前年度の不合格を張し打いて 一部の本演者が自八十四名であるか | 参郷事務第7は勝つて 重の受験もできる 京大理工両学部に救いの手

「本語の組織を記されている。 「本語を記されている。 名にすぎないが、との試験の狙い

(Sの方が新聞) 年期人対象 大 選挙を責合は異なり、松井・時からの教授会で提供して、三 ・ 大 選挙を責合は異なり、松井・時からの教授会で提供して、三 ・ 大 選挙を責合は異なり、松井・時からの教授会で提供して、三 ・ 大 選挙を責合は異なり、松井・時からの教授会で提供して、三 理学部長に長谷川教授

八万円何処へ

で新八生千五百名の の課題工事はそのは 施展、すでに食気需 進度、すでに食気需

全國初の入試 ため受験生態めの一策という職

工事を廻る背信事件?

私こそ適任者

版を味わゝなさや……厚く遊ば「折角京都へ來た以上は京都の



原時間にくり入れられて好」を様な姿でしかる半分以上が初心り暗む、それぞれ正料と一ある。さずが下断はきばいないが いる寿もあれば、オーバ・を報じ、現われ、金属だ、杯ぎの機能、ど、ない、オーバ・十日にバス・カバンを活がた意味をそのままも、れで活現をよりあた。「あただは、様々で「スキーの暗形」をあっ、さずが下観けをはいないが、とつより着れて「悪の大脚屋をパーる字原(以配着)

B

日本戦歿学生の手記

きけわだつみのこえに変い

編集権の自由を 本社、公認学内圏体へ

の時間にを決行す 界 は 動

今井登志喜る 社 会史

編稿率コロナ社 情報

門職內科子 後学和品明八百年

近~第一次募集

それによれば二十五年度旧桐大学一する

の 19年では、 は、 20年 では、 独逸語変化表と單語集人の標準独逸單語六千二〇

の数官公議で高度を表明、所委員

三者協議会へ

みすず書房新刊

り、自経経験部部が流吹ったるの様でを流くして再発する点ので、そのでは、その様でを流のです。そのはないになってはないとのはできません。 ドイツ・発生が出るの情報を表している。 性の勝利いいい の影響であり、自由樹鰤への影響であり産場的情報のためか?人間の良心の

京、年 5 人名法克夫 生物学 15 人名法克夫 生物学 性出來和 北

The New York Cimes.
WEAN SUPLEMENT INTERNATIONAL ARE EDITION

EXAMPLE MENT INTERNATIONAL ARE EDITIONAL ARE

篠原正瑛著 種版

郷愁配に比ずべき山 仕年のベストセラー 1三〇円総の円

戦の彼岸にあるもの

上の神器を科学から前くために、「になった『余計なものがありやも、とにまたもやマギーシュな成績を一幅な非人前的なカトリックと、第一ないからな。第十は「余計もの」」 タリズムにふたしび結びつけ、そ

するに足る何らの動きをも示す

つだかも知れぬ。しかしそれはアヤマの飛魚」という表現は適切だ

國内での話である。日本を

本、秋元版の旅出で「電土の地段階のどろだった。電井文夫の開

秘からの解放

霊峰の語り続ける歴史 瓜生忠

> おり、全種の表すけをもって、なければか一化が、新聞やラジオによって著し 数々のあらゆる問題を、歴史的に科学的復活しと天皇と富士を抱き合せて

地ば、四百年という歴史的時間のヘカとどとにちがいがあるといえよ しかし疑いもなく、との歴史的一全くはげしいショックで青くなつ 「フジヤマの飛魚――古権」とい あっていることを、おそらく読者 --

についての紹介および批判をこ

めた。まとめると言ってもとな の財産における要明大学の

で更加大学の翻躙生が対象で

では、永遠の平和を世界にもたでは最も機能的な批判や主張が、第三論文「平和の題似とカント は一宮も触れることをしない。

しかしぼくが戦に順をたて

青二シカゴ委員会」を認識した。しろ海湾的な環境間の対立、正、調査をひろげるに毎三の小藤鎮等二シカゴ委員会」を認識した。しろ海湾的な環境間の対立、正、調査をひろげるに毎三の小藤鎮 **ルカットは川端彌之助御伯** (新社会社・1川OE)(上) の批判的な特別をするめたい。

川東三氏が「世界女に活動」の共議主義を命による中却の諸・徳による「世界地域とかった」とて、労働問題、特民は問題、一郎に祖をもまればなるない世界の関係といったのは思うな、信かれて、「中和のための職に」 シスム土・名の米波川人女も学 和のあり得ない三つの大陸組み て、平均力式としてきわめて楽堂・

政治嫌いの関心

「精神と原理」の理解に それにもかくわらずとなされか 資料と顕袖に包まれたよ

い表現は、とくに「政治機い」

タインとン銀四物理学者との論
をかするのを、併立的な手権域
一般である。とする四般的なカ 第二同類動の支持者アインシュ 人種問題をあげながら、平和を 政府運動も「異に必要なことは 一ト的原理に希望をつながざる

現存機構を栄柔し、新しいものを 生ごを得た。その中の最大のものは、 のシ し、との激しい聞いの中で 出来なかつたととを申訳する様に見られ、そのために問着

生ごと問宮川代子(原節子)が、

河上の主緒にとって風水上、精 その必然的方向であった。そこに 医刺き液的液体から内膜的小彩をとこでした。
一般のいいできなが、大会においておらぶわれ、ついにといく、大会においておらぶわれ、ついに 作物門質質質 上有服务服务

陸_{B6} 命大の赤化を響う、すみやかなる 赤行道族を含む」と由海ともにて ム日報とはなったが、数々の進書 の出館の数、との切々たる壁図の | 幼年時、少年期の英様な生活な、

大学が投こしてのみならず、「黄」し」・「マルクス士略寺にしての、常鵬を祀るしく欠き合用化学から結婚された先生は、ためピーキシストのしいの影が関われ出一色に不学順な優立と目立己 THE STATE OF THE S

政体しみもなず、隣地した別の世一た。桃、

えするの飛躍を快渡して当時である」と

何上先生以 その

◆畑田(京大)気絶す! 1.ラケビー学生養難対抗― た 2日(日)午後一時半が過ぎ ・ 3月(日)年後一時半が過ぎ 、「試介を減して西切を作の倒じ!! 目 いても、場井の家名と株式化・ナンスなく敗れ去つだ が、村の行事、境じそうに願かしての砂束肌を収りが、村の行事、境じそうに願いません。 同じ年頃の少年 のトライ、コンパートなり仕切り さんだそれが指揮をかけて、そのトライ、コンパートなり仕切り というない (歴) 「皮膜したと属じてからの音がなったが、(歴) 「皮膜したと属じてからの音がない。

りの静いも誰かにつきぶわれて

・ 国展加わることは許されず、村祭、経歴所や部屋・呼ばれ、新小教 で、弊古はその少年だちの舞れに「比働いていた。母屋の大塚展も

・問對にその間の学記を本社に寄せたので、とゝに貴屋な資料として以下に掲載する 手腕に上るその照由書を落践、本紙上でその大栗を掲載したが此度処分解は学生である加酸、料局 昨年七月十九日、厚生女学部不発用問題に媚を通したいわいる手、事件に関しる当は四学生を伊学 明快敏速な判断力を

第二加藤 敏、之 経第一数第八と結婚した約二子名 あつ

製護院を懸劣な民れは病院民主化闘争が決定的段階(係を活躍とするセンチメンタリズ

・ 時を中心に学内外のファシストが った。網経貿易の環度化周撒した 工学の制質的の房におけてされた。させた。その反響は以外に大きか 五月十八日私はじめ四名に探い やし深を流した表に払いふを問め

のの、空内に動産を図めさせたのだ。年来

被3しく欠けていたととである。

□ (5)の経費組織といる(5)を10年 (本)・ (4)を大・ (4)を大・ (4)を大・ (4) を (4)

知性なき大和振子 大映「白気先生と子供鑑」

また。 であるに適いないし、またこの味」

リズムは時によつては非常に模造

る。

く確伴はよろしくない。とこにい 頭に思めてよいものである。(京会集を通じては稼じて前年がよ 反省の資料とするに足るという 蔵 a。 U 道、あるいは个孫のP★・Aの在 え、さらにはとれに関する批判で 大炭腫脱 日下)

日本評論社

等 等・新刊書・科学的書 ・新刊書・科学的書

經濟 一中 勝高土田 超尾 一中 勝高 土田 建 三 網 之 加 鄉 三 網 一 学 助知

靜 賀 勝 志画

(17)

変化物マルキシズムと法学 @ <OH 青春の谷間

空 **空**

岩 二月號雜誌 波 書

店

成長する前進への意欲

暨 松 岡 健 一

410

河 とでもなかろう で、奴領が一緒に行くのを嫌がつ 簡単の取録を受けましたが、限か 騒状じや」と断討しまして、と 何上が檢費されました時、私も 凍すと、何上は買下に、「馬駅

が初の上にうずれく相よれたとで私が「一個芸俗ということにな

く酸卵が終ったとは申しましても

(河上陳士未亡人)

芝物 一をもつて、時代精神に養大、河上氏の立場がはつきい

労学会」のころ

ているのは、その時のテキストが ったのである。第一次世界戦争を変ったが、わたしの今な必要格し ったものが「エルフルト精領」だ

労資協調を叱る先生 商山 義 いての討論は、ほどんど忘れてし、学会」において、われわれの飲わしていたされた話や、それにつ、ろう。そして、前途のように「労

1月号 日 門應三 子《千 初度女小便! の作動・一次田 神

2 解散と解放の網型(こ) ・・・・・ 大工 参加

「甘州学派」、語る版「開拓版」

学生分 章 無分談。A ○ 二年分割。A ○ 二年分 ○ 二

定備 HOR 华纽分派00円

· 市田 井 竹 次 節 弦 節

京都 新**公** 日本分割の日 日本分割の日

查寶恩 法律文化社 醫學屬